

令和6年度 北海道中学校体育大会 軟式野球大会における熱中症防止対策 及び競技進行が困難な場合における代表チームの選出方法について

北海道中学校体育連盟事務局

【全競技に関わる熱中症防止対策】

- ・各競技における基本的な熱中症防止対策については、「北海道中学校体育大会における熱中症防止対策」（当連盟HPの「規約・お願い・連絡事項」のページに掲載）に基づき、大会運営を行う。
- ・会場の暑さ指数計において、暑さ指数（WBGT）が31℃（※気温と同じ単位であるが、気温だけではなく、気温・湿度・日射・輻射を総合した指標）に近づいたり、31℃を超えたりした場合には、会場の換気や観戦者の入場制限（屋内競技のみ）、大会の中断、競技日程の変更などの措置を検討する。
- ・前日の17時に気象庁より発表される「熱中症特別警戒アラート」（※「熱中症警戒アラート」とは異なる）が発令された場合には、その日の大会の中止を検討する。
- ・会期中に試合やレース等の全日程を終了することができなかった場合には、各競技ごとの基準に基づき、全国中学校体育大会の北海道代表選手及びチームを選定する。

【軟式野球大会に関わる熱中症防止対策】

○ 基本的な対策（※大会特別規定14・15）

- ・3回と5回終了時に給水タイムを設ける。
- ・5回終了時及びタイブレーク方式開始前にグラウンド整備を行う。
- ・暑さ指数（WBGT）が31℃に達すると予想される場合については、2回、4回6回裏終了時に給水タイムを設ける。その場合は、4回終了時にグラウンド整備を行う。
- ・守備時間が長引いた場合、インニングの途中であっても給水タイムを設ける。（20分を目安として本部で判断し、打者のプレイ完了後に給水タイムを設ける）

● 競技が進行できない場合の代表チームの選出方法

- ・天候や気候等によって順延となり、大会会期中に全国大会の出場チームを決定することができない場合、組合せ対戦チーム同士による抽選（登録選手から代表の9人を選出）で勝敗を決定する。